



杉並区立 杉森中学校
学校だより 第360号
平成27年11月30日
平成27年度 第7号

「杉森中の伝統」

副校長 工藤 康男

朝晩の冷え込みが厳しくなり、校庭の銀杏の木も黄葉に色づき始めました。そのような中、11月7日に本校と小中連携校である杉並第一小学校の創立140周年記念式典が盛大に行われました。

杉森中学校は、昭和22年5月2日に杉並第一小学校の校舎を借りて開校されました。当時の入学者は194名であり、戦後直後の混沌とした時代の中で小学校6年、中学校3年の義務教育制度がスタートしました。新制中学の発足で生徒が急増し、教室の不足から各地で青空教室や二部・三部授業（午前の部と午後の部に分けて授業を行う）が行われていました。杉森中学校でも杉並第一小学校の一部を借りて授業を行っていたようです。

昭和24年に木造の新校舎ができあがり、現在の場所に移りました。以来、人間性豊かな生徒の育成を目指し、地域と一体となった教育活動を展開してきました。昭和37年に鉄筋校舎が竣工され、現在の鉄筋校舎ができたのが平成元年のことです。多目的スペースや屋上のプール、開放会議室などの施設・設備が備わった素晴らしい教室環境が整いました。先日も本校の卒業生が来校され、校舎内をご案内したところ、当時と全く違っており、「子ども達は良い環境の中で学習ができて幸せですね」という言葉をいただきました。本校の卒業生が来校し、当時を懐かしみ、杉森

中学校の発展を願っていることに、改めて地域の中の学校であることと伝統を感じることができました。

また、平成元年の新校舎改築と同時に教育目標も「自学・実践・友愛」と改められ、平成5年に正門前にある「友愛の礎」の石碑がつけられました。友愛を重んじ、心身ともに健康で豊かな生徒の育成を目指す本校のシンボルとなっています。正門前に石碑があることは多くの生徒が知っていると思います。当時の思いを感じながら改めて石碑を見ることで、本校の歴史や伝統を感じることができるかもしれません。また、開放会議室には、創立当時の木造校舎や早稲田通りの様子の写真が展示され、本校や地域の面影が分かるような貴重なものがあります。

杉並第一小学校の140周年には及びませんが、本校も平成29年で創立70年を迎えます。多くの卒業生（平成26年度までで12664名）を輩出し、社会で活躍されています。今後も自由と責任を自覚して、心身ともに健康で「自学・実践・友愛」を目標に、杉森中学校の良き伝統を維持してほしいと願っています。



～11月のアルバム～



【2学年食育授業】11/4(水)
宇津見栄養士からお話を伺い、班ごとに「バランスの良い給食献立づくり」を作成します。グランプリになった献立は、今後の給食メニューに採用されます。



【杉並区連合文化祭】
11/5(木)～8(日)
美術作品、技術・家庭科作品、杉並区子どもサイエンス・グランプリ2015、音楽発表会、書評座談会などがセシオン杉並・勤労福祉会館ホールで展示や発表が行われ、本校のみならず、より多くの区民の皆さまに見ていただくことができました。



【3年理科移動プラネタリウム】
11/10(火)
太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など、宇宙について認識を深めることができました。



【杉森祭】11/28(土)
近隣の小学生を対象に、ゲーム・アトラクションを通して部活動の紹介を行いました。また、この日までに部活動ごとに準備を重ね、多くの小学生に楽しんでもらいました。

平成27年度 杉並関税会「税の標語」優秀作品

杉並税務署長賞

Y・Yさん「助け合う 心を形に 納税で」

杉並関税会 入選

T・Nさん「税金を 正しく納めて 明るい未来」

中学生「税についての作文」

杉並納税貯蓄組合連合会会長賞 A・Hさん「なぜ税金はあるのか」

公益社団法人 杉並法人会会長賞 O・Kくん「税の作文」

杉並子どもサイエンス・グランプリ2015年

優秀賞 N・Aさん「葉が水をはじく力」 O・Rくん「くすり 酵素の力」

平成27年度「いのちの教育」読書感想文コンクール

優秀賞 K・Rさん 本の題名「アハメドくんのいのちのリレー」

卓球部 平成27年度杉並区新人卓球大会 女子団体2位 都大会出場

【12月の予定】

3(木) 三者面談(3年) 始
7(月) 朝礼
9(水) 三者面談(3年) 終
10(木) 各種委員会

11(金) 1・2年保護者会
12(土) 土曜授業
13(日) 杉並区駅伝大会
17(木) 口腔保健指導(1年)

18(金) 全校美化
25(金) 終業式
26(土) 冬季休業日始